

中国とネパールからの留学生が研究室を見学されました（2017/9/5）

テーマ：2017 ISN-APSN-JSN Joint Advanced School of Neurochemistry
場所：東北大学医学部（宮城県仙台市）

International Society for Neurochemistry Advanced School の一環で、中国から東北大学に、およびネパールから首都大学東京に留学している大学院生が9月5日（火）に災害医学研究部門 災害精神医学分野 研究室を見学されました。最初に、愈志前 助教が災害科学国際研究所の設立の経緯、東北メディカル・メガバンク機構の概要、当研究室が行なっている様々な研究内容を紹介しました。その後、当研究室の実験室や動物実験センター、東北メディカル・メガバンク棟を見学して頂きました。

基礎研究の視点からの精神疾患（うつ病や PTSD）の予防および治療法の開発、その実験方法、動物モデルの活用、並びに病態メカニズムの解明などに関する説明に続いて、留学生から熱心に質問があり、意義深い討論がなされました。午後には、佐藤文子 研究支援者（東北メディカル・メガバンク機構／災害精神医学分野）が当研究室で行われているメンタルヘルス支援について説明し、臨床心理士としての東日本大震災後の被災地での活動について、写真を見せながら紹介しました。留学生たちは被災地での特別なメンタルヘルスの問題などに興味をもたれたようでした。最後に、富田博秋教授が PTSD などの災害関連のメンタルヘルスについて紹介し、活発な議論を行うことができました。



説明会の様子



集合写真

文責：愈志前、佐藤文子（災害医学研究部門）